

8. 今後に向けて

今後、整備を進めていくにあたり、以下の点にも配慮しつつ、自転車道整備の推進を提案する。

①市民・地域との合意形成

- ・設計が進んだ段階など、説明会等を必要に応じて実施し、市民及び地域住民との合意形成を図り、自転車道整備の推進を図る。
- ・市民との協働が大切であるため、工事の段階でも市民が参画する仕掛けを考えていく。
- ・市民向けのイベントや講演会を開催し、市民の情報・意見交換の場を設けながら、進めていく。

②まちづくりに寄与する自転車利用の向上

- ・西島松北交流公園を經由する郊外ルートや盤尻方面を結ぶルートなどの派生的なルートは、恵庭市サイクルネットワークとして引き続き、市で検討する事。
- ・札幌恵庭自転車道線を骨格とした、恵庭市内のサイクルネットワークについて検討し、まちづくりに寄与する自転車のあり方の検討を行なう。

③後世に残す自転車道づくりの実現

- ・自転車道整備にあたっては、ストーリーを作り、歴史を作っていく。
『自転車えにわ物語』を後世に残す。

④関係機関、団体との調整

- ・関係機関や団体と協議・調整を行い、提言書の実現を目指す。

⑤必要に応じた検討委員の関わり

- ・本検討委員は維持管理やルートの評価など、必要に応じて今後も関わっていく。